

## 北朝鮮の人工衛星と称する弾道ミサイル発射に対する意見書

2016年2月7日、北朝鮮はわが国をはじめ国際社会からの強い自制の申し入れにもかかわらず、国連安保理決議違反にあたる人工衛星と称する弾道ミサイル発射を強行した。

北朝鮮が発射した事実上の弾道ミサイルの飛行コースは、当市を含む先島諸島上空を通過した2012年12月の発射とほぼ同じコースで、弾道ミサイル落下の危険性があった当市では、市民の生命財産が危険にさらされ、経済的にも大きな損失を被るのは否めない状況にあった。

よって当市議会は、市民の生命財産を危険にさらし、わが国のみならず、東アジア地域全体の平和と安全を大きく損い、平和を希求する国際社会への挑発行為となる弾道ミサイル発射に対し強く抗議するとともに、政府は、北朝鮮に対し、当市議会の抗議の意思を然るべき外交手段で伝え、関係各国と連携して弾道ミサイルの開発を直ちに断念させるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年2月12日

石 垣 市 議 会

あて先

内閣総理大臣、内閣官房長官、防衛大臣、外務大臣